

平成29年4月27日  
岡山大学

## 岡山大学中性子医療研究センターが発足、開所式を挙

岡山大学は最新のがん治療法であるホウ素中性子捕捉療法(BNCT)研究を重点的に進めるため、文部科学省や鏡野町の支援を得て4月1日に「中性子医療研究センター」を設立し、5月9日に開所式を挙ります。本センターの役割は、使いやすく安全で、身体深部にあるがんにも奏功する新たなホウ素薬剤の研究開発を進めることです。名古屋大学における新たな中性子発生装置（加速器型）の開発と連携しつつ、世界最高のがん治療法を提供します。さらに、BNCTを含む放射線治療のガイドラインを策定している国際原子力機関(IAEA)と協働し、新しい世界標準ガイドラインをオール・ジャパンで取り組み、定めていく予定です。

1. 名 称 : 岡山大学中性子医療研究センター開所式
2. 日 時 : 2017年5月9日(火) 16:00~17:30
3. 場 所 : 岡山大学鹿田キャンパス

【看板上掲式】自然生命科学研究支援センター光・放射線情報解析部門鹿田施設玄関前

【中性子医療研究センター概要説明会】Junko Fukutake Hall

4. 出席者 : 調印式には岡山大学からは、榎野博史学長、山本進一エグゼクティブ・アドバイザー(EA)ら、鏡野町からは山崎親男町長らが出席します。
5. 背景 : 昨年岡山大学はBNCTを含む放射線治療のガイドライン策定の責任機関IAEAと連携協定を締結しています。今後、日本中の医療関係者、研究者の協力を得つつオール・ジャパン体制で、BNCTの新たなガイドラインの策定と、その社会実装を目指します。現在、本学大学院医歯薬学総合研究科の松井秀樹教授らは、これまでの概念とは異なる画期的なBNCT用ホウ素薬剤の研究開発を進めています。
6. 松井秀樹教授コメント : 「BNCTは将来性のあるがん治療法の一つです。ホウ素同位体B10を含む医薬品をがん細胞に送り届けた後、中性子線を照射すれば、がんを細胞単位で殺すことができます。BNCTを用いることにより、手術を回避し、生活の質QOLを著しく向上させることが可能となります」

<お問い合わせ>

岡山大学中性子医療研究センター  
教授(特任) 市川康明  
(電話番号) 086-235-7105